



2009.8.18
【特別号】

ふるさとの会主催シンポジウム 2009 開催要項
～たまゆらの悲劇を繰り返さない～
都内・各地域に「支援付き住宅」を

これはHTML形式
のMAILです。
オンラインで無い場合
は画像が表示され
ない可能性があります。

ふるさとの会主催シンポジウム2009開催要項

2009年8月吉日

今年3月に群馬県渋川市で起きた「静養ホームたまゆら」の火災事故は、都市部の高齢困窮者が住みなれた地域で暮らすことが難しくなっている問題を明らかにしました。
特に焦点になるのは、生活保護を受けるなど低所得で、介護や生活支援を必要とするにもかかわらず、家族の支援を受けられない単身高齢者等の住まいの確保です。高齢や心身の障害により宿泊所や単身での生活継続が困難な人々への支援は、現在の制度の枠組みでは大きな困難を強いられています。
そしてこの困難は、「たまゆら」から半年を経た現在、何が変わったのでしょうか？
いま求められているのは、高齢者福祉、生活保護、住宅政策が連携して、支援付き住宅を制度化し、都内各地に普及させ、高齢・要介護・三障害を抱える単身困窮者の地域居住を実現することです。そのためには、縦割りの制度を横断する地域ケアのネットワークを形成しながら、在宅から中間施設までの多様な暮らしを支え、必要なところに必要なサービスが行き届くようにコーディネートする「切れ目の無い地域密着型サービス提供による包括的支援システム」を地域協働的につくっていくことではないでしょうか。
NPOなど民間事業者が支援付き住宅の設置をすすめることは、明日からでもできることです。10月12日は公開シンポジウムに先立ち、研究者、ジャーナリスト、NPO等民間事業者が中心になって「支援付き住宅推進会議設立総会」を開催いたします。地域ケアと居住資源が重層的なセーフティネットを張るための仕組みと、地域の安心生活のために必要な制度の在り方について、多くの方とともに考えたいと願っています。

【日時】 2009年10月12日(月・体育の日) 13:30開演(13時開場)

【会場】 墨田区生涯学習センター「ユートリア」(別紙地図参照)

【プログラム】

13:30 開演・主催者挨拶
13:35 来賓挨拶
13:45 基調報告「支援付き住宅の普及に向けて」
山岡 義典 氏 支援付き住宅研究会委員長／法政大学現代福祉学部教授／日本NPOセンター代表理事
14:30 パネルディスカッション「たまゆらの悲劇を繰り返さないために」
石川 治江 氏 新宿区福祉部生活福祉課相談係長
高橋 紘士 氏 立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科・コミュニティ福祉学部教授
水田 恵 NPO法人すまい・まちづくり支援機構代表理事

【参加費】 1,000円(終了後懇親会を予定。参加費2,000円)

【主催】 NPO法人自立支援センターふるさとの会
高齢被保護者等の地域における居住確保とケアのニーズ調査及びシステム構築の方法に関する研究会(略称「支援付き住宅研究会」)

【協賛】 ホームレス支援全国ネットワーク

お問い合わせ先

【問い合わせ・連絡先】NPO法人自立支援センターふるさとの会

03-3876-8150

E-MAIL:hurusato@d5.dion.ne.jp

発行元:特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会

〒111-0031東京都台東区千束4-39-6

TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950